



2月は立春を迎え、暦の上では春になります。暖かい日が続いたかと思うと、冷たい北風が吹き、寒い日もありますが、子どもたちはいつも元気に園庭へ飛び出していきます。毎日、園庭で音楽を流しBGMに合わせてマラソンのスタート。みんなで一生懸命走っているうちに身体も温まり、楽しそうに笑っています。そうやって身体も強くなっていくのでしょうかね。保育者の方が息を切らせていることもあるくらい、子ども達も体力がついてきました。遊びや生活の中の、ふとした場面で成長を感じる毎日です。

子どもたちの成長が目まぐるしい年度末。その成長を見逃さず、自信を感じられるよう充実した日々を過ごせるようにしていきたいと思います。



今月の予定



- ・ 3日(月) 豆まき節分会
- ・ 13日(木) 避難訓練
- ・ 17~18日(月火) 身体測定
- ・ 26日(水) お楽しみ会

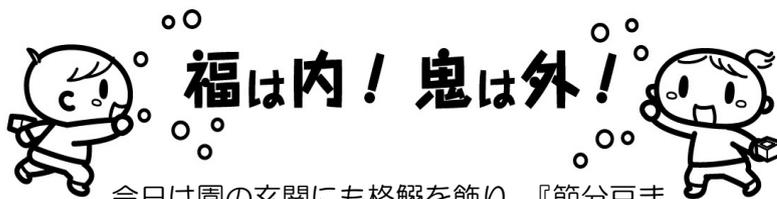


3月の予定



- ・ 3日(月) ひなまつりの会
- ・ 17~18日(月火) 身体測定
- ・ 27日(木) ありがとうの会
- ・ 28~31(金月) 希望保育期間

※避難訓練は日時を決めずに行います。



福は内! 鬼は外!

今日は園の玄関にも柵翳を飾り、『節分豆まき会』を行いました。

この時期ならではの遊びを楽しむことで、季節の移り変わりや昔からの風習、伝統を子どもたちに感じてもらえればと思います。



1月の感染者情報

- ・ 溶連菌感染症…1名
- ・ ヒトメタニューモウイルス…1名

どちらも検査をしてわかる感染症です。
ヒトメタニューモウイルス感染症は、気管支炎の原因となるウイルスで症状はRSウイルスと似ています。症状も見た目だけでは診断できないため、風邪の症状がみられたときは、早めに受診をしましょう。

三二保健だより



溶連菌感染症

2~5日の潜伏期間の後、喉の痛みや、扁桃腺が腫れる症状から始まり、頭痛、体のだるさなど、かぜの症状と同時に38~39℃の高熱が出ます。発熱から2~3日経つと、首や胸、手首、足首に粟粒状の発疹が現れて強いかゆみを伴い、やがて全身に広がります。同時に、舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹が現れます。

溶連菌感染症と診断されたら、抗生物質を10日から2週間程服用します。早い時期から服用する程、治療効果があると言われています。回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあります。症状が消えても、医師の指示があるまでは、薬の服用をやめないようにしましょう。

